

---

# 歪詩(イビツウタ)

刃琉斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

イヒツウタ  
歪詩

### 【コード】

N2980S

### 【作者名】

刃琉斗

### 【あらすじ】

どうしようもなく稚拙で

どうしようもなく歪な詩歌

其処にあるのは愛か、哀なのか  
喜か奇か

はたまた虚無のみが広がっているのか

氷炎下（前書き）

ひとつでも心に残れば幸いです。

## 氷炎下

花も空も枯れた冷厳の果て

忘れていた筈の温もり見つけて

不意に恋しくなつて焦燥に焼かれ

胸に氷水を流し込み世界を保とうと試みる

それでも燻る火種は尚も蝕み続け

醜き両の手を伸ばさぬ限りは

この身を焼き尽くすまでは止まらぬ程に

其れでも

宵の空に咲いた朧月

例え肉が灰になろうと骨が芥になろうとも

この想いだけは暗き深淵の果てにと

そうするのが正しいと信じ

想いの焔に焼かれてた

それなのに、あなたは残酷だ

罪深いこの私に

そつと手を差し出してきたのだから

払いのける為の手は既に燃え尽きてしまった

だから拒絶出来る訳がない

篝火見つけた羽虫のように

この己の弱さを

精一杯呪い愛して

手を重ね逢わせる

目を離したら消えそうな

宵に咲く朧月

嗚呼、ただ其処に

届くのなら

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2980s/>

---

歪詩(イビツウタ)

2011年10月7日15時23分発行